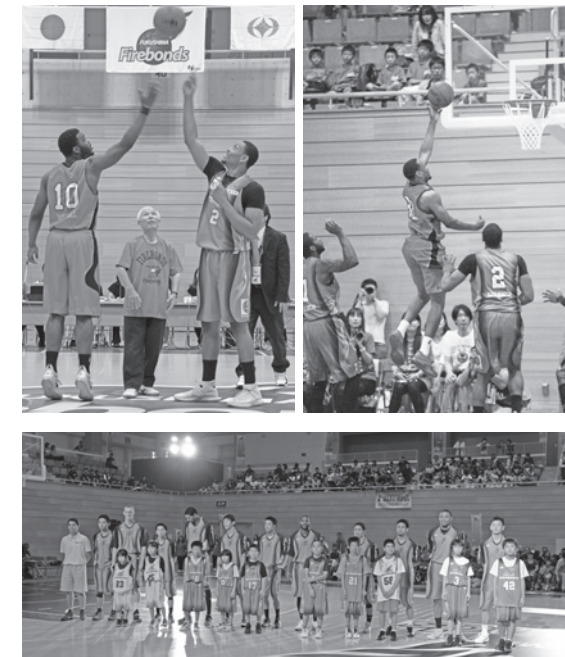


福島ファイヤーボンズが田村市で初陣



男子プロバスケットボール・bjリーグの前哨戦「2014～15 プレシーズンゲーム東北カップ」が9月13日に開幕し、岩手ビッグブルズを迎えての一回戦が田村市で開かれました。県内初のプロバスケットボールチームとなる福島ファイヤーボンズが市総合体育館に登場し、デビュー戦を待ちわびた大勢のファンに迫力のプレーを披露しました。開催地として富塚市長があいさつし、約2mの外国人選手に挟まれ、始球式を行いました。ハーフタイムには、チアリーダーが華やかなダンスを披露し試合に花を添えました。

試合は第2クォーターまで37対43とほぼ互角の展開。後半に突き放され、67対82で惜しくも初陣を飾れませんでした。福島に勇気と希望を与えてくれました。

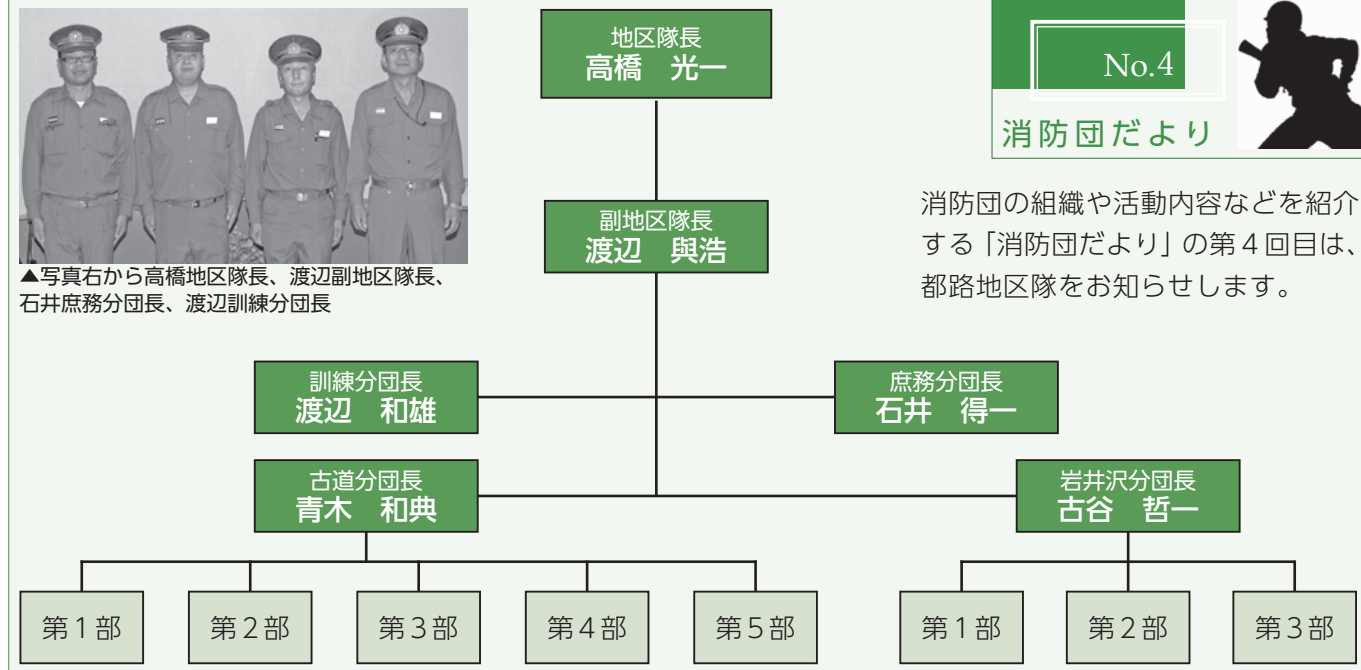
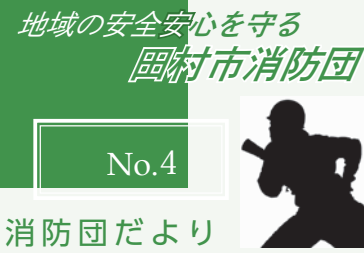
各地区の敬老会で、笑顔と拍手



市内12会場で9月15日、74歳以上の方を招待した敬老会が開かれました。市長からのお祝いのあいさつに続き、敬老祝金、記念品の贈呈などが行われました。また、88歳の米寿の方には賀寿と記念品が贈られ、本年度中に100歳を迎える方に内閣総理大臣からの祝い状と記念品が伝達されました。各会場では、各種団体による趣向を凝らした演芸が披露され、招待された皆さんは笑顔を見せるなど楽しい一日を過ごしていました。



都路地区隊消防団組織図



都路地区は山林が約8割を占め、その内、国有林が約半分を占めています。位置は田村市の北東部にあって、西部は常葉町と一部船引町移地区、北部は葛尾村、南部は川内村と接し、東部は現在原発事故で通行規制がある浪江町と大熊町に接しています。

平成23年3月11日の震災および原発事故では、都路地区の住民の方が避難することになった際、いち早く消防団員が避難所への誘導や居住者の確認、避難所での防犯警備などを行い、あらためて消防団の存在意義や必要性が注目されたところです。

都路地区隊は、高橋光一地区隊長を筆頭に渡辺與浩副地区隊長、渡辺和雄訓練分団長、石井得一庶務分団長、古道・岩井沢地区を統括する分団長2人の計6人



▲6月開催の小型ポンプ操法で、準優勝の岩井沢分団第2部

また、6月22日に開かれた第5回田村市消防団消防操法大会には、古道分団がポンプ車に、岩井沢分団が小型ポンプ車に出場し、毎朝の練習の成果を発揮して、岩井沢分団第2部が小型ポンプ操法の部で準優勝しました。

都路地区隊は、今後とも市民の皆様のご協力を得ながら団員とともに都路地区および田村市内の消防防災を担っていききたいと思っています。

都路地区は、地区隊本部と2つの分団で構成されています。古道分団は青木和典分団長を中心に5部体制で古道地区を、岩井沢分団は古谷哲一分団長を中心に3部体制で岩井沢地区を担当し、それぞれ消防・防災活動を行っています。

の幹部と副分団長5人、部長16人、班長22人、団員107人の合計156人で組織され、ポンプ車2台と積載車9台を所有しています。

日ごろの活動は、規律訓練の実施やポンプの試運転、機械器具の点検を行うなど、万が一の火災出動に備えるとともに、毎月5の付く日は、車両による無火災広報など予防消防にも取り組んでいます。その成果もあり、昨年度から1年間、無火災を迎えることができました。

今後も地域のために！



田村市消防団 都路地区隊 隊長 高橋 光一